

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
 (仮称)ホームセンターコーナン京都久御山町店

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)201
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.40			3.0
1 音環境		3.0	0.15			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00			
1.2 遮音		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音		3.0	0.20			
2 温熱環境		3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.50			
3 外皮性能		3.0	0.17			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.33			
2.2 湿度制御		3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25			3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.50			
1 屋光率						
2 方位別開口						
3 屋光利用設備		3.0	1.00			
3.2 グレア対策						
2 屋光制御						
3.3 照度						
3.4 照明制御		3.0	0.50			
4 空気質環境		3.0	0.25			3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50			
1 化学汚染物質		3.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.50			
2 自然換気性能						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50			
4.3 運用管理		3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.50			
Q2 サイバース性能			0.20			2.8
1 機能性		2.8	0.40			2.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画		3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30			
1 広さ感・景観		3.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33			
3 内装計画		1.0	0.33			
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23			

2.4 信頼性		2.6	0.19			
1	空調・換気設備	3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	3.0	0.20			
3	電気設備	1.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	3.0	0.20			
5	通信・情報設備	3.0	0.20			
3 対応性・更新性		3.0	0.29			3.0
3.1 空間のゆとり		3.0	0.31			
1	階高のゆとり	3.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	3.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31			
3.3 設備の更新性		3.0	0.38			
1	空調配管の更新性	3.0	0.17			
2	給排水管の更新性	3.0	0.17			
3	電気配線の更新性	3.0	0.11			
4	通信配線の更新性	3.0	0.11			
5	設備機器の更新性	3.0	0.22			
6	バックアップスペース	3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)		3.0	0.50			1.0
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		1.0	0.30			1.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	1.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	1.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性						3.4
LR1 エネルギー		3.0	0.40			4.0
1 建築物の熱負荷抑制		必要部位に断熱材を使用	5.0	0.30		5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		
3 設備システムの高効率化		LED照明器具、ヒートポンプエアコンを採用	4.7	0.30		4.7
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		集合住宅以外の評価(ERRIによる評価) ERRI=29.7%	4.7			
集合住宅の評価						
4 効率的運用			3.0	0.20		3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		
LR2 資源とマテリアル		3.0	0.50			3.0
1 水資源保護			3.0	0.15		3.0
1.1	節水		3.0	0.40		
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63		2.7
2.1	材料使用量の削減	鉄骨造	5.0	0.07		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20		
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22		3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	建築材料をほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用している。	5.0	0.32		
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68		
1	消火剤	粉末ABC消火剤を使用	4.0	0.33		
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33		
3	冷媒		3.0	0.33		
LR3 敷地外環境		3.0	0.80			3.0
1 地球温暖化への配慮		効率の良い空調機器、照明器具を採用	3.9	0.33		3.9
2 地域環境への配慮			2.1	0.33		2.1
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		
2.2	温熱環境悪化の改善		1.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		
3	交通負荷抑制	十分な駐車場・駐輪場を設置している	5.0	0.25		
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		
1	騒音		3.0	0.33		
2	振動		3.0	0.33		
3	悪臭		3.0	0.33		
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		
1	風害の抑制		3.0	0.70		
2	砂塵の抑制					
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		
1	昼間照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		
2	夜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		